

超音波診断装置 EPIQ Elite/Affiniti Elevate（エレベート）シリーズを販売開始： 新しい自動化機能と高度なアルゴリズムで迅速で確実な診断を支援



株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：ジャスパー・アスエラス・ウェステリンク、以下フィリップス）は、超音波画像診断装置 EPIQ Elite/Affiniti Elevate シリーズを4月1日（火）に販売開始します。

超音波は汎用性が高く利用しやすい画像診断の一つですが、習熟した専門家になるまでにはトレーニングに長い時間がかかり、増え続ける需要にどう応えるかという大きな課題に直面しています。このたびリリースされた EPIQ Elite/Affiniti Elevate シリーズは、新しい自動化機能と高度なアルゴリズムを搭載し、ワークフローの迅速化と診断プロセスの効率化に寄与します。

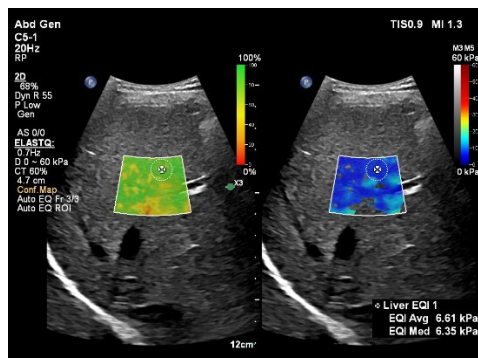
Elevate シリーズの主な製品特長

1. 自動画像調節ツール AutoScan Assistant の拡充

AutoScan Assistant は、腹部、血管、表在臓器、小児科、産婦人科領域、造影エコーなど、各種検査における 100 以上のプリセットで、より高精細な画像処理と直感的なワークフローの実現を目指した機能です。ピクセル単位の最適化アルゴリズム（Next Gen AutoScan）や、深さ方向の自動輝度調整（AutoScan Penetration）により、手動調整の手間を減らし、患者一人ひとりに最適化された画像をリアルタイムに描出することが期待できます。（ボタン操作を最大 54%削減^[1]）

2. AutoElastQ (オート・エラストキュー)

Shear Wave Elastography を用いて肝臓の硬さを非侵襲的に計測するアプリケーション ElastQ (エラストキュー) に、自動化機能が追加されました。Auto ElastQ は、計測に適したフレームや ROI ポジションを自動で判別し、計測結果を表示することが可能です。これにより、これまで課題であった検査時間を最大 60%短縮し[2]、99%の再現性が報告されています。[3]



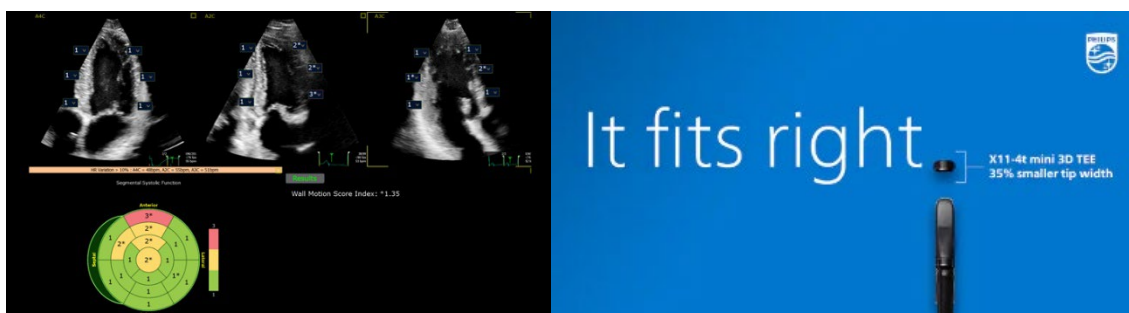
Auto ElastQ による肝硬度の自動計測：適切なフレームと ROI ポジションが自動で判別され計測が行われます

3. ワークフローの効率化

新しい QuickLaunch プリセット機能は、検査中に画像を最適化する時間を短縮しルーチン検査を加速します。さらに、直観的なアノテーション入力を可能にする Color Coded Annotation や、カスタムボディマーカを装置にインポートする機能が追加され、より柔軟にユーザーのニーズに対応することが可能です。

4. 循環器領域の AI*機能を継承

冠動脈疾患を含む様々な心疾患の左室機能評価では、ストレインや局所壁運動異常などの評価をユーザー間のばらつきなく実施することが求められています。EPIQ Elite Elevate には、循環器向け超音波診断装置 EPIQ/Affiniti CVx/Transcend シリーズの AI*技術が搭載され、自動化による検査の効率化、複雑な解析の客観的評価をサポートします。さらに、新しい細径 3D 経食道トランスジューサー X11-4t も搭載され、SHD 領域での活用が期待されます。



Auto Segmental Wall Motion Scoring (Auto SWM)

細径 3D 経食道トランスジューサー X11-4t

*AI 技術の設計には Deep Learning または Machine Learning を用いており、実装後に自動的に装置の性能・精度は変化することはありません

[1] D00277745B, Marketing Claim Evidence for EPIQ V10 vs V7, Workflow Efficiency

[2] D001795093, Marketing Claims Evidence for Auto ElastQ timing, V12.0_Rev A

[3] D001705221, Auto ElastQ clinical study report



販売名：超音波画像診断装置 EPIQ/Affiniti

医療機器認証番号：225ADBZX00148000

管理医療機器／特定保守管理医療機器

販売名：フィリップス 食道向け超音波診断用プローブ X11-4t

医療機器認証番号：306AFBZX00060000

管理医療機器／特定保守管理医療機器

フィリップス・ジャパンについて

株式会社フィリップス・ジャパンは、ロイヤルフィリップスの日本法人として1953年に創業以来、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。主な事業領域は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、睡眠・呼吸治療、およびパーソナルヘルスと多岐に渡ります。ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーとして、超高齢化が進む日本の医療・健康課題解決に向け取り組んでいます。

日本の従業員数は約2,000人、約70拠点でビジネスを展開しています。 (<https://www.philips.co.jp>)

ロイヤルフィリップスについて

ロイヤルフィリップス (NYSE:PHG, AEX:PHI) は、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指す、ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーです。

フィリップスの革新的技術は人々を中心に設計されています。先進的技術と医療従事者および消費者のインサイトを活用し、消費者にはパーソナルヘルスソリューションを、医療従事者とその患者様には病院や家庭でのプロフェッショナルヘルスソリューションを提供しています。

オランダに本社を置く当社は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、およびパーソナルヘルスの分野で世界をリードしています。フィリップスの2023年の売上高は182億ユーロ、全世界に約69,700人の従業員を擁し、世界100か国以上でビジネスを展開しています。フィリップスに関するニュースはこちらからご覧ください。

(<http://www.philips.com/newscenter/>)

医療機器および企業に関するお問い合わせ

株式会社フィリップス・ジャパン

コミュニケーション担当

press@philips.com